

第3回 北摂サッカー協会 審判トレセン 報告

11月23日(土) 伊丹市立東中学校において、表記トレセンを行いました。

内容は、県協会から3名のインストラクターを招き、北摂協会審判員と北摂協会インストラクターによる、サッカー競技規則についての研修会です。

20人以上の審判員が集まり、以下の日程で研修しました。

①インストラクターによる、オフサイド判定の現地練習（プラクティカルトレーニング）。中学生がプレーをしてくれました。



②中学生の練習試合を審判し、全員で見学→反省会。



③ルールについてのプレゼンテーション。

④インストラクターによる講義。



特に、今年度ルール解釈の改正があった「オフサイド」に関する研修では、質疑が活発で、よい研修になりました。

参加者の感想

- ・試合のビデオを見て、とてもわかりやすかった。
- ・オフサイドの判定練習では、みんなで確認しながら進められたので、わかりやすかった。
- ・オフサイドの際、2列目の飛び出しを見て、wait and see することの大切さとタイミングがわかった。
- ・今回の研修で、オフサイドの判定に自信ができました。レフェリーとしての役割の奥深さを実感しました。

まとめ

オフサイドについて、重点的に研修を行った今回のトレセンでは、その判定の難しさを感じつつも、その判定の基準やタイミング、なぜオフサイドとなるのか、オフサイドにならないのかがより明確になりました。

感想にも、大変役に立ったとの意見が多かったです。

これからの審判活動に役立てて、より正しく、スムーズな判定ができるように、ますます研修していきたいと思えます。

北摂協会の審判員のみなさんは、今後もこのような研修会に参加したり、新しく研修してきた方々から情報を得たりして、よりよい審判活動をしていただきたいと思います。そして、サッカーの楽しさを広め、北摂協会のサッカーがますますフェアでタフでスピーディーなものになるよう、お互いに高め合ひましょう。